



女性に“歯のトラブル”が多いのはなぜ…？

女性には女性特有の生理的、遺伝的な理由から、男性よりも“**歯周病**”にかかりやすく、悪化させやすいことが指摘されています。



これはどうしてかということ、女性が思春期を迎えると「**女性ホルモンの分泌**」が始まります。そして、このホルモンは歯ぐきの溝からも滲み出て、歯ぐきの毛細血管に影響を及ぼし、歯周病による炎症を悪化させてしまうからです。

また、この“**女性ホルモンを栄養源としている歯周病菌がいる**”という報告もあります。そのため、女性ホルモンがたくさん分泌される月経周期には、歯周病がどうしても悪化しやすくなってしまいます。

そして、女性が最も歯のトラブルに気をつけなければならないのは“**妊娠中**”です。

なぜなら、妊娠中は特に女性ホルモンの分泌が増えるため、その影響はさらに大きくなってしまいます。

また、“**つわり**”が起こる時期になると、歯ブラシを口に入れることが辛くなって歯みがきがおろそかになってしまったり、一度にたくさん食べられないので、食事や間食が増えて常にお口の中が酸性状態だったり、さらには、つわりの影響で酸っぱい食品（酸性）を好んで食べるようになることもあったり、これら要因が重なってお口の中のトラブルが生じやすくなってしまいます。



妊娠中は歯科医院に通った方がいいの？

こういったこともあり、妊娠されている方は進んで「**歯の検診**」を受け、むし歯や歯ぐきの状態を診てもらうことが大切です。妊娠中の方の治療は、薬の投与やレントゲン検査が十分にできないこともありますが、歯科医師に妊娠していることをしっかり伝え、治療が必要な場合はしっかり処置をしてもらいましょう。

妊娠後期や出産後は治療や通院が難しくなりますので、できるだけ安定期（妊娠5～7ヶ月）の間に済ませておくようにしましょう。

